



報道機関 各位

国立大学法人東北大学 産学連携機構

### 東北大学発ベンチャー起業支援プログラムの採択決定 PREP 技術による金属合金粉末製造事業化案件など新たに 6 件を採択

#### 【発表のポイント】

- ・令和元年度BIP事業第 1 回学内公募として、6 件の事業を採択
- ・今後、事業化資金を支援するほか、関連機関によるメンタリング、マッチングイベントへの参加支援を行う予定
- ・これまで、終了事業 32 件のうち 14 件の起業支援を達成

#### 【概要】

国立大学法人東北大学では、東北大学発ベンチャー100 社創出を目指し、研究成果を活用したベンチャー企業創出への支援に力を入れております。

具体的には、事業化の意志を持つ研究者を対象に社会ニーズに対応した製品のプロトタイプづくりやニーズ調査などによる事業性検証を通じて、社会的インパクトのある研究成果の事業化・実用化を支援する東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム(BIP)を実施しています。

本プログラムには、企業との共同研究を前提とする「重点」と、新技術の事業化検証から、実用段階にある技術の起業準備に至る幅広い段階に応じた支援が可能な「育成」があります。「重点」は、事業化に賛同するパートナー企業との共同申請による本格的な事業化検証プログラムとして、「育成」は、研究者の事業化意欲の積極的な発掘と支援拡大を視野にした支援プログラムとして実施しているものです。

この度、第 1 回学内公募に係る審査の結果、「重点」として 1 件、「育成」として 5 件、合計 6 件の事業化案件を採択いたしました。

BIP は、平成 25 年 7 月開始以降、「重点」「育成」合わせて 37 件を支援しております。これまでに 32 件の事業が終了し、うち 14 件がベンチャー企業の設立に繋がっていることから、引き続き、持続可能で心豊かな社会の創造に貢献できる技術などを活用したビジネスの創出を目指して活動を進めてまいります。



## 採択者への今後の支援内容

- 「重点」では、大学が 3,000～6,000 万円＋パートナー企業が BIP 実施費総額の 1/3 を負担し、「育成」では、大学が上限 500 万円の額を負担し、大学発ベンチャー創出のための事業化資金を援助
- 産学連携機構、オープンイノベーション戦略機構、東北テクノアーチ、東北大学ベンチャーパートナーズによるメンタリング
- 連携企業開拓のためのマッチングイベントの参加支援

(別紙)

令和元年度第1回東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム (BIP) の採択内容

タイプ	所属部局	実施代表者	BIP 実施内容
重点	金属材料研究所	千葉 晶彦 教授	PREP 技術を基盤とした金属粉末事業創成の要となる革新的 PREP 装置開発用回転電極超高速化及び電極供給技術の開発とその事業化のための体制構築
育成	金属材料研究所	岡田 純平 准教授	高性能リチウムイオン電池電極材料の開発と事業化企画
育成	多元物質科学研究所	和田 健彦 教授	次世代抗体医療を可能とする新たな細胞内環境応答型多機能リンカー技術の開発
育成	医工学研究科	梶山 愛 技術補佐員	流体力学に基づいた透析患者用医療機器開発のためのコンセプト及び事業化検証
育成	工学研究科	福島 誉史 准教授	三次元集積技術を基盤としたナノプロブカードの試作と事業性検証
育成	歯学研究科	江草 宏 教授	iPS 細胞を利用した骨誘導性骨補填材技術の事業化に向けた取り組み

事業期間

重点：令和元年 11 月 1 日～令和 2 年 10 月 31 日

育成：令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 9 月 30 日

【問合せ先】

国立大学法人東北大学 産学連携機構

事業イノベーションセンター

江口 弘一、宇佐見 晃、後藤 大志

Tel : 022-752-2200

E-mail : info.innovation@ml.tohoku.ac.jp

URL : <http://www.rpip.tohoku.ac.jp/sangaku/inn/>